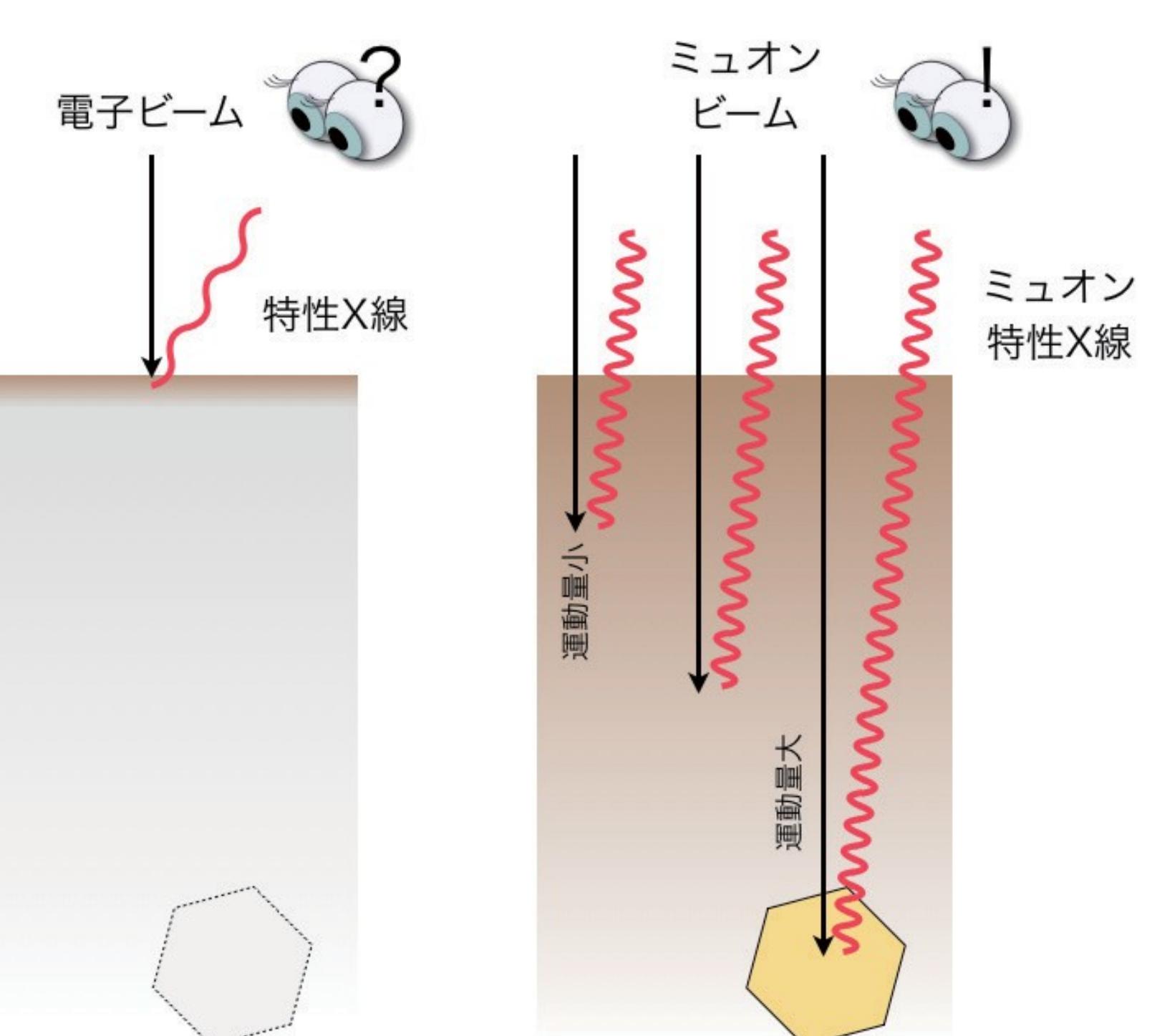


# ミュオン科学実験施設



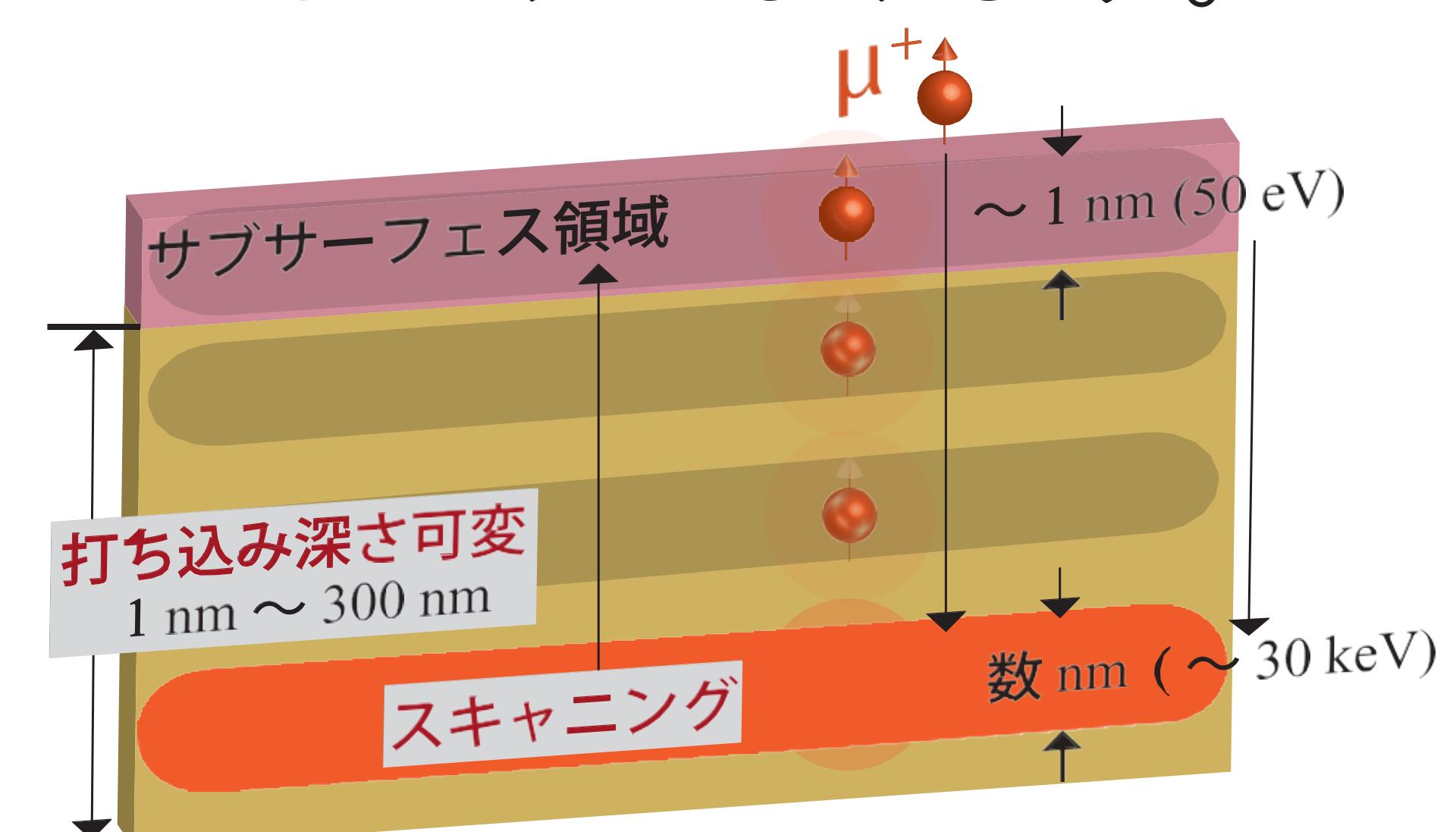
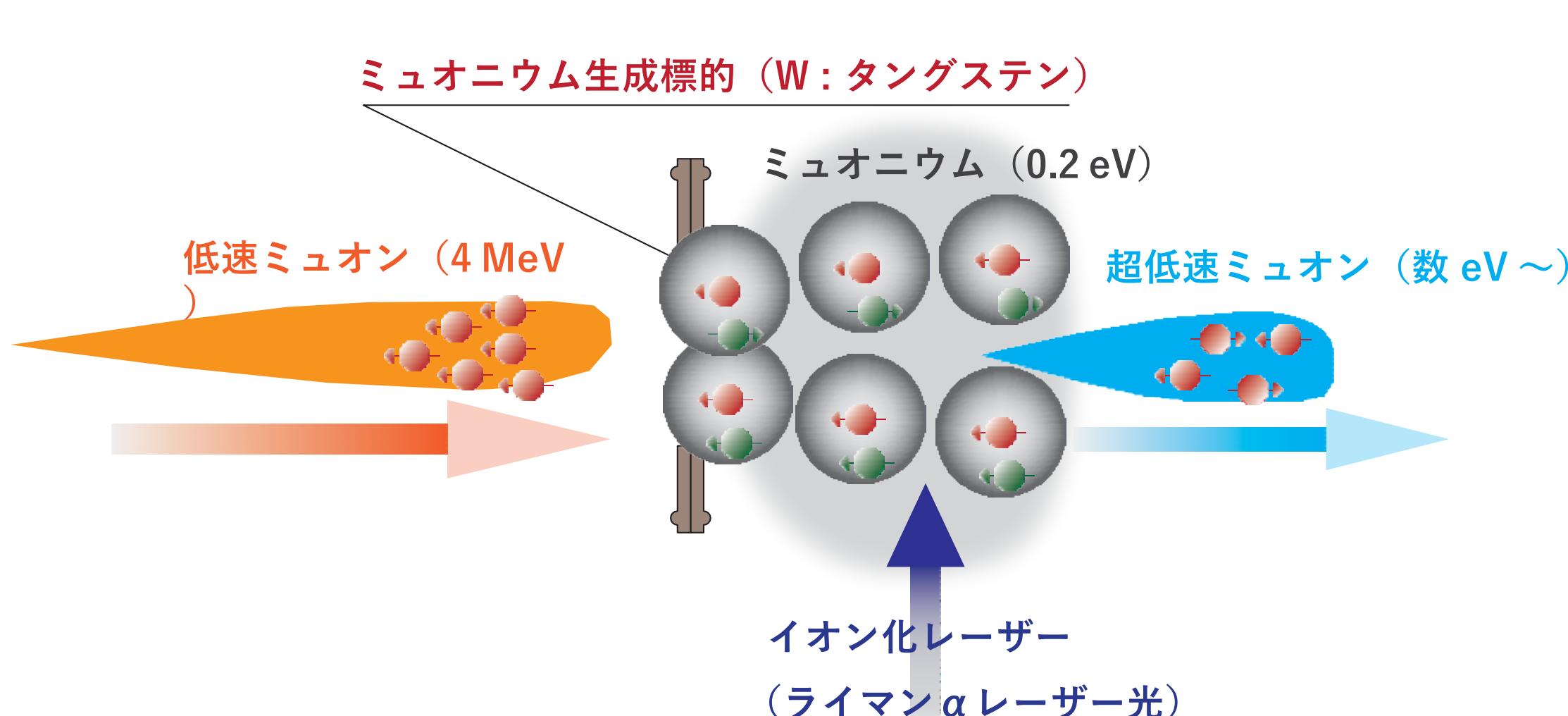
## D-Line | 汎用ミュオンビームライン

正負ミュオンを利用して物質を調べる研究が行われています。JAXAはやぶさグループとの共同研究では、持ち帰った隕石の性質を調べるために、負ミュオンを使った非破壊元素分析を行うことが計画されています。



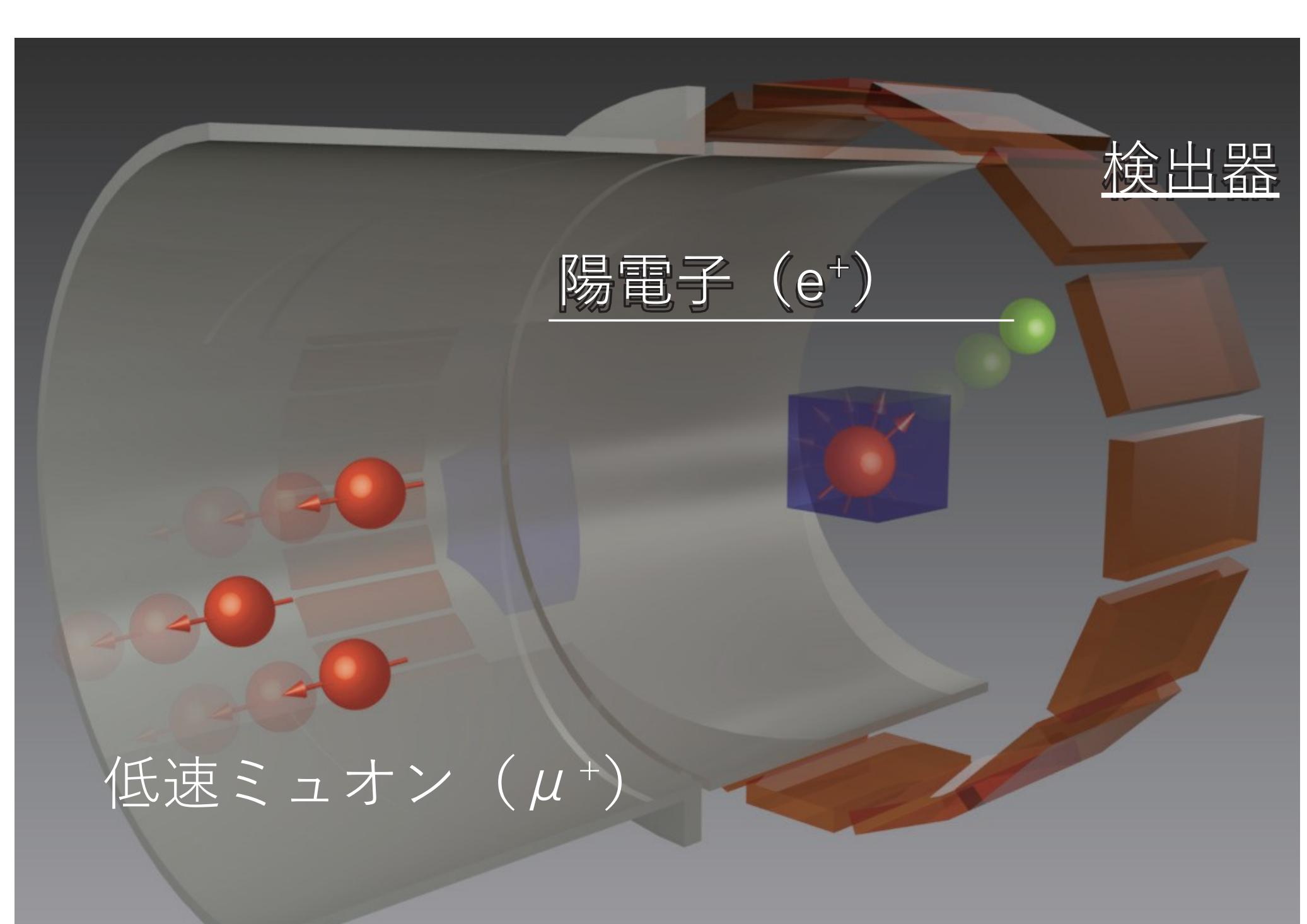
## U-Line | 超低速ミュオンビームライン

低速度領域で速度を変化させることができるミュオンビームを使い表面から物質内部までを連続的に観測できます。さらに超低速ミュオン顕微鏡の開発が行われています。電子顕微鏡では観察できない厚いものを見るようになります。

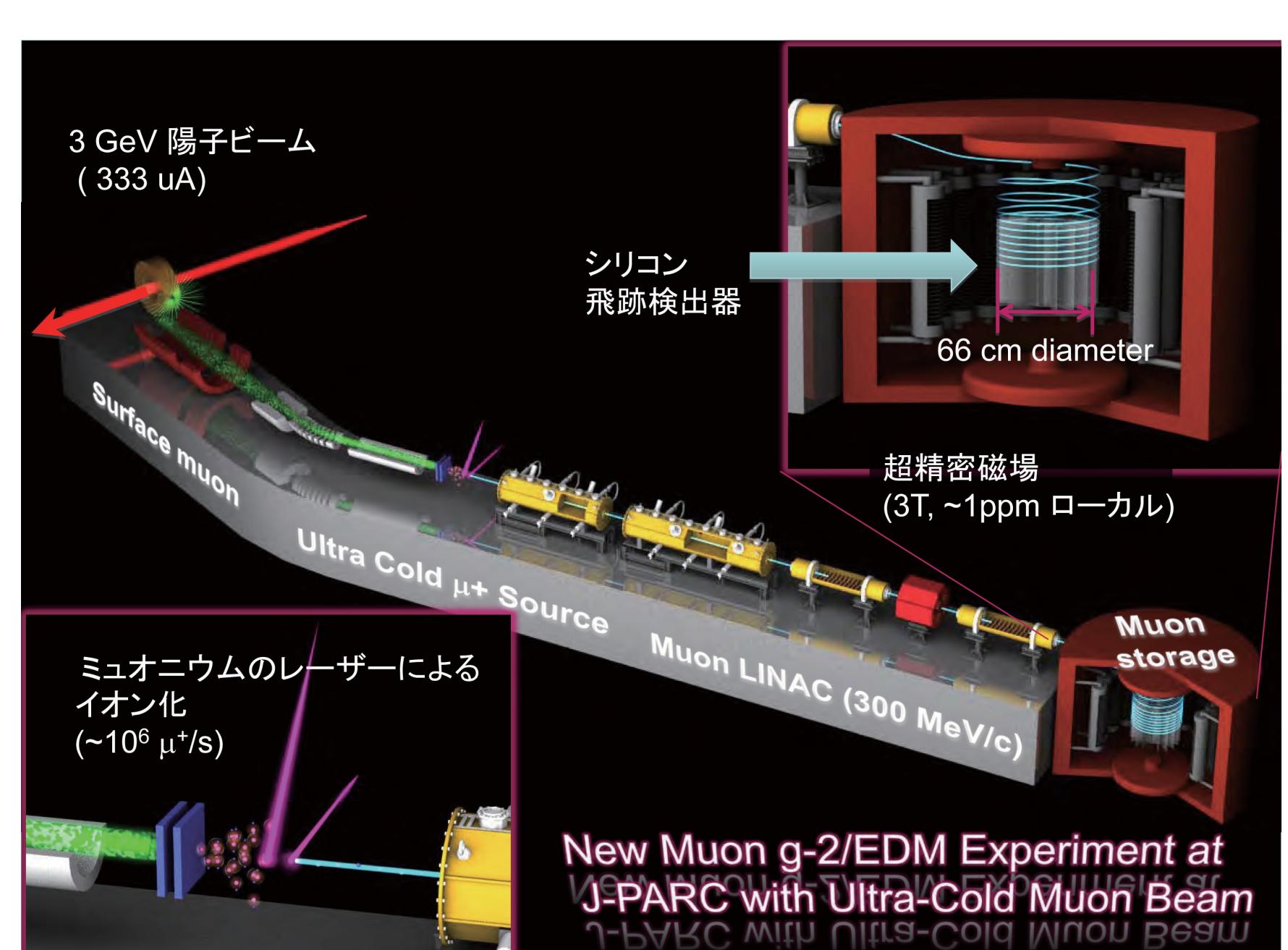


## S-Line | 低速ミュオンビームライン

物質材料の研究に利用されている $\mu$ SR法（ミュオンスピントル・緩和法）の実験に適したビームラインです。高温超伝導体、磁性体などの研究が行われています。



## H-Line | 高運動量ミュオンビームライン



ミュオンそのものの性質を精密に調べる実験が多く計画されている主に基盤研究用のビームラインです。また透過型ミュオン顕微鏡の設置も計画されています。